

致辞

尊敬的上海市人民政府副秘书长 金兴明 先生
尊敬的上海市人大常委会委员、外事委员会委员
李克欣 先生
尊敬的上海市政治协商会议经济委员会专职副主任 黄玮
先生
尊敬的上海市人民政府外事办公室副主任 范宇飞 先生
尊敬的来自江苏省、浙江省、安徽省、江西省的各位领导
尊敬的各国总领事
尊敬的各位来宾，朋友们，晚上好！

今天，大家百忙之中甚至远道前来参加天皇陛下诞辰招待晚会，在此谨表示衷心的感谢。

天皇陛下今年12月23日将迎来80岁生日。长期以来，天皇陛下一直致力于加深与中国的交流。21年前的1992年10月，天皇皇后两位陛下曾经对中国北京、西安、上海进行了正式访问，实现了日中交往史上天皇首次访华。听说，来上海访问时，天皇陛下面对夹道欢迎的上海市民，亲自指示当时坐在旁边的总领事把开车速度减慢，并对欢迎的人群挥手致意。显示了天皇陛下对两国友好的诚挚之心和殷切期待。

前不久，想必大家也听说了，11月13日，天皇陛下向救助一名日本落水男孩的上海留学生严俊授予了“红绶褒章”和奖状。而前天，我又听说了在安徽合肥，一个女学生跳湖，被一位日本青年救起的新闻。无论国家与国家之间关系如何，只是作为一个普通人，在他人危难之时伸以援手，我对这样的高尚行为感到钦佩。特别是最近一段时期，日中两国之间充斥着负面新闻，网络等媒体经常出现一些过激言论。我对这种现象感到担心。这样的时期下，听到两国普通国民之间英勇救人的消息，很令人振奋，也深受鼓舞。作为驻上海总领事，我衷心希望双方通过交流和对话，促进相互理解和信赖，让类似的积极消息持续涌现，两国国民感情不断改善。

我就任日本国驻上海总领事已经快三个月。这期间，我多次亲身感受到了日中经济交流比预想中更广、更深，相互依存关系更加密切。为了进一步了解这种关系的具体内容和问题，我尽量去外地出差。上次去了一个城市，那里有2500家日本企业，雇用了100万中国员工，与日本的年贸易额超过200亿美元。但去年9月，受反日游行的影响，那里的日本企业和餐厅遭到很大损失。虽然该市的政府领导们已经对我说，不会让这种事情再次发生，请放心。但是我认为，如果因为政治导致经济萎缩，受到影响的将是两国无数的国民，社会也会不稳定吧。日中两国互为邻居，难免有时会产生政治方面的摩擦和对立。重要的是，我们应该努力构筑不对经济和社会产生大影响的稳定关系。其中，政治发挥的作用显得十分重要。

在上海总领事馆的领区华东地区1市4省内，有2万多家日资企业，约8万日本人常驻，是世界最大的日本侨民居住地。现在，上海正在全力建设中国（上海）自由贸易试验区。我国对上海自贸试验区表示欢迎，并高度关注。衷心希望通过上海自贸试验区的成功，中国进一步开放，经济进一步发展，从而为亚洲繁荣乃至世界和平作出更大的贡献。这个过程中，我方愿意尽力提供合作。

今年正逢日中和平友好条约缔结35周年。这35年以来，日本通过对华政府援助、民间企业在中国的投资等途径，和中国建立起了密切的合作信赖关系。同时日本自身也从中取得了益处，达到了双赢的效果。昨天，我刚刚参加了一次某日资企业的展示会。这家日企40年来一直在中国开展业务，为中国所面临的医疗、环境等问题提供许多高科技产品，受到中国消费者的欢迎。它在全中国有20多个分公司，雇用了1万多名中方员工，其中，还有公司高层管理人员。他们长年来在日资企业工作，学习日语，为深化日中两国关系做出贡献。像这样的人在两国还有许许多多。特别是在上海以及华东地区，我就任后每天都能遇见很多投身于两国交流的朋友，亲身感触到了两国合作关系的深入和密切。在此，我非常想对大家表示衷心的感谢。

今天，出席招待会的各位来宾都是日中两国的友好人士，是两国交流的中坚力量。习近平主席最近也在讲话中强调，必须改善和加强与周边国家的关系，全方位推进交流和友好交往。我就任以来，在所有场合都强调了交流的重要性。因此，我十分关注习近平主席的这番讲话，并倍受鼓舞。今年4月开始，来本馆申请个人游的中国游客数量屡创新高。这是个非常积极的信号，我对此感到十分欣慰。当前社会已经进入信息化时代，我们能接触到各种各样的信息，但如果不亲眼去看，亲耳去听，对很多信息都会产生误解。因此，我希望，越来越多的中国朋友去日本，越来越多的日本国民来到中国，通过亲身体验和接触，以及面对面的对话和交流，加深相互理解。我此次来到中国就任，非常愿意在这方面做出积极不懈的努力。在此，也希望各位来宾给予大力支持和协助。

最后，在东日本大地震中，上海以及全中国的朋友们给予了莫大鼓励和支援。刚才伊藤女士钢琴伴奏、恩田女士演唱《开花》时，屏幕上显示的就是地震后的复兴活动。正如大家所看到的，在大家的支持下，日本东北的人们正在不断努力创造光明的未来。因此，尽管我们现在也处于困难的时期，但是为了日中关系的光明未来，我们必须努力。这正是我们互为邻国友邦所肩负的重要使命。请大家支持！谢谢大家！

2013年12月4日

日本国驻上海总领事

小原 雅博

ご挨拶

尊敬する金興明・上海市人民政府副秘書長
尊敬する李克欣・上海市人民代表大會常務委員會委員、外事委員會委員
尊敬する黃瑋・上海市政治協商會議經濟委員會專職副主任
尊敬する範宇飛・上海市人民政府外事弁公室副主任
尊敬する江蘇省、浙江省、安徽省、江西省からお越しの指導者の方々
尊敬する各国総領事の皆様
尊敬するご来賓及び友人の皆様
こんばんは。

本日はご多忙の中、また、遠方からも天皇陛下誕生日祝賀レセプションにお越し頂き、誠にありがとうございます。

天皇陛下は本年12月23日をもって満80歳を迎えられます。天皇陛下は長期に亘って中国との交流を深めることにご尽力されてこられました。21年前の1992年10月、天皇皇后両陛下は北京、西安、上海を公式訪問し、日中交流史上初めて天皇陛下の中国ご訪問を果たされました。上海ご訪問の際には、沿道に集まった上海市民の前に、天皇陛下は隣に座っていた総領事に車の速度を落とすよう自ら指示し、歓迎してくれた人々に対して手を振ってご挨拶されたと言われております。両国の友好に対する天皇陛下の真心と切なる期待の表れと言えるでしょう。

先頃、おそらく皆様もお聞きになったことと思いますが、11月13日、天皇陛下は、川に落ちた男の子を助けた上海からの留学生、厳俊さんに対し「紅綬褒章」を授与されました。また先日は、安徽省合肥市で日本人男性が湖で溺れていた女子学生を助けたというニュースも耳にしました。国と国との間の関係がどうであれ、一人の人間として他人の危難に際しては手を差し伸べる、こうした高尚な行為に敬服する次第です。特に最近の一時期、日中両国の間には悪いニュースばかりが流れ、ネットなどのメディアには過激な言論が頻出しています。こうした現象を私は憂慮しておりましたが、そんな時期に両国の国民同士が勇敢に人を救ったというニュースを聞き、大いに勇気づけられるとともに、励まされもしました。私は、在上海日本国総領事として、日中双方が交流と対話を通じて相互の理解と信頼を促進し、こうした明るいニュースが次々と表れることにより、両国の国民感情が絶えず改善していくことを心から望んでいます。

在上海日本国総領事に着任して3か月が過ぎようとしています。この間、日中の経済交流は私が想像したよりもずっと広範で、そして深く、相互依存の関係がより緊密になっていることを何度も身をもって感じました。こうした関係の具体的な内容や問題点をより理解するため、私はできる限り地方にも出張しています。先日はある都市を訪問しましたが、そこには2500社の日本企業があり、100万人の中国人が就業し、日本との年間貿易額は200億ドルを超えています。しかし昨年9月、反日デモの影響を受け、日本企業やレストランは大きな損害を受けました。市の指導者はこうしたことが二度と起きないようにする、安心してほしいと言われましたが、政治が経済の萎縮を招くならば、影響を受けるのは両国の無数の国民であり、社会も不安定になるでしょう。日中両国は互いに隣同士であり、時に政治面での摩擦や対立があるのも避けられないかもしれません。重要なのは、それが経済と社会に大きな影響を与えないような安定した関係を築くよう我々は努力すべきということです。そこでは政治の役割が大変重要です。

在上海総領事館の管轄地域である華東地域1市4省には、2万社以上の日系企業が進出し、約8万人の日本人が在住し、世界最大

の在留邦人居住地となっています。現在、上海は全力で中国（上海）自由貿易試験区の建設に取り組んでおられます。我が国は上海自由貿易試験区を歓迎し、大いに注目しています。上海自由貿易試験区が成功し、中国がさらに開放を進め、経済が一層発展し、アジアの繁栄、ひいては世界の平和にさらに貢献されることを心より願っております。その過程において、我々もできる限りの協力をさせて頂きたいと願っています。

今年は日中平和友好条約締結35周年に当たります。この35年間、日本は対中ODAや民間企業による中国への投資などを通じて、中国との間で密接な協力と信頼の関係を築いてきました。同時に、日本自身もそこから利益を得て、ウィン・ウィンを実現してきたのです。

昨日、ある日系企業の展示会に参加しましたが、その企業は40年にわたって中国でビジネスを行い、医療や環境など中国が直面する問題を解決するため、多くのハイテク製品を提供し、中国の消費者から歓迎されています。その企業は中国全土に20箇所以上の拠点を有し、1万人以上の中国人職員を雇用していますが、中には高級管理職に就いている人もいます。彼らは長年にわたって日系企業で働き、日本語を勉強し、日中両国の関係深化に貢献されてきました。こうした方々は他にも両国に大勢いらっしゃいます。特に上海を始めとする華東地域において、私は両国の交流に身を投じる多くの友人たちに毎日のようにお会いしており、両国の協力関係の深さと緊密さを肌で感じています。この機会に、皆様方に対し心からの感謝申し上げます。

本日、レセプションにご出席頂いた皆様はいずれも日中両国の友好人士であり、両国交流の中核となる力であります。習近平主席は最近その講話において、周辺国家との関係を改善・強化し、全方位で交流と友好往来を進めなければならないと強調しています。私は着任以来、あらゆる機会に交流の重要性を強調してまいりました。だからこそ、この習近平主席の講話に注目し、勇気づけられました。本年4月以来、当館に個人観光ビザを申請する中国人観光客数は毎月過去最高を記録してきました。これはとても前向きなシグナルであり、非常に嬉しく思います。現在の社会はすでに情報化時代に入し、私たちは様々な情報に接することができます。しかし、その目で直接見なければ、そしてその耳で直接聞かなければ、多くの情報は誤解を生み出しかねません。より多くの中国の皆様が日本に行き、より多くの日本人が中国に来て、身をもって体験し接触し、フェイス・トゥ・フェイスの対話と交流を通じて、相互理解を深めることを期待しています。今般中国に着任した私自身も、こうした面で積極的に弛まぬ努力をしていきたいと強く思っています。ついては、ご列席の皆様のご支援とご協力を賜りたいと存じます。

最後になりますが、東日本大震災では上海をはじめとする中国の方々から多大な激励とご支援を頂きました。先ほど伊藤さんのピアノと温田さんの歌による「花は咲く」をお聞き頂きましたが、その際スクリーンに映し出された復興への努力に見られるように、皆様のご支援もあって東北の人々は明るい未来に向けて引き続き努力しています。私たちも難局の中にあっても明るい日中関係のために努力していかねればなりません。それこそが我々隣国の者同士の重要な責務であります。引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りたいと思います。ありがとうございました。

2013年12月4日
在上海日本国総領事
小原 雅博